

[第 156 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 6年11月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 6 年 1 2 月 7 日 (土) 15時～17 時
 - 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
 - テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.199～
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)
 - 懇親会 17 時 45 分～ 場所 ウエストレイクホテル可以登楼
(JR 安曇川駅前) ☎0740-32-3131
- 参加費 5,000 円★参加いただける方は、11/29 までに田中までご連絡ください。

2024 年 11 月 2 日(土)、藤樹神社社務所で第 155 回藤樹人間学塾を開きました。今回は雨の中、京都から1名、大津から 1 名を入れて6名の参加でした。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本名著)

■ テキストの見出し

「集義和書」書簡の 2 天下は回り持ちか、節分の夜の行事、内典と外典 を輪読し、説明しました。

■ 配布資料

(1)「まなざし 474 号」、(2)藤樹の「孝」の思想と中庸の図、(3)田口佳史「天尊く、地卑くして、乾坤定まる」(致知)、(4)森信三『全一的人間学』「人間の身体と心の意義」、等。

■ 今日のポイント

- ・ 天下は回り持ちか…政治は武力による軍政ではなく、治世者が安定した世の中にするのが理想である。富貴(経済政策)がなくては万民を救うことはできない。
- ・ 節分の夜の行事…「福は内へ、鬼は外へ」の意味。秋冬は家に陰気(鬼)が居るので春夏に切り替わる節分に陰気(鬼)を追い出し、外に居る陽気(福)を招き入れるのである。
- ・ 内典と外典…形色のあるもの(二元相対の世界、目に見えるもの)はみな無(一元絶対の世界、大宇宙)から生じるので、有・無はもともと二つのものではない。仏教でも、もとは有・無を二つのものとしていない。「色即是空」。中庸の説明も行った。先天の図の説明を田口氏の資料も使って行った。

■ フリートーク

- ・ 「蕃山は幕府に対して反発するだけでなく、評価すべきは評価していたことが分かった」
- ・ 「今は宗教心がないが、開眼したら幸せに死ねると思った」→人生は今から。学んで、考えて、開眼したら、周りの人にそれを教えてあげる(実行)。そうすれば幸せになると思う。

等の意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

